

アメリカの2世代支援策

—その実態と福祉政策における位置づけ—

○ 國學院大學 根岸 毅宏 (004452)

2世代支援策、1996年連邦福祉改革、ALICE

1. 研究目的

アメリカでは、2010年代から、とくに2010年代後半になって、貧困者や低所得者の支援策として2世代支援策（Two-Generation Approach）が注目されるようになる。2世代支援策とは、対象に応じて個別に分かれている福祉制度やプログラムを、親と子どもたちのニーズにも対応するような包括的支援として提供することである。これは、（就労による）生活の安定性の確保や貧困の連鎖からの断絶を目指したものである。

本研究の目的は、第1に、2世代支援策の実態として歴史的な展開、それぞれの内容や特徴を明らかにすることである。その上で、第2に、この2世代支援策を1996年連邦福祉改革以降のアメリカ福祉政策の展開に位置づけて評価することである。

2. 研究の視点および方法

本研究の方法は、文献研究である。2世代支援策の普及を促進するNPOや政府機関の報告書を主に用いて、歴史的な展開、それぞれの内容や特徴を検討する。本研究の視点は、2世代支援策をアメリカの福祉政策の歴史的な展開の中で捉えようとするものである。

3. 倫理的配慮

本研究は、倫理委員会の承認手続きを必要とする人を対象とした研究ではない。「一般財団法人日本社会福祉学会研究倫理規定」、「研究倫理規定にもとづく研究ガイドライン」を遵守し、研究に取り組む。本稿もこれらに基づき作成している。なお、本発表に関連して開示すべきCOI（利益相反）はない。

4. 研究結果

親子の2世代もしくは家族全体の福祉ニーズに対応しようとする考えは19世紀後半のセツルメント運動にまで遡るものの、2010年代からは、とくに2010年後半からは2世代支援策が改めて注目される。現行の公的福祉制度は個々の児童や成人にフォーカスすることが多く、2世代にフォーカスしていないため、次のような生活上の課題が指摘される¹。すなわち、貧困や低所得の家族では、親の不定期な就労が定時の保育や定時運行の公共交通と合わないこと、低収入が衣食住の基礎的ニーズを満たさないこと、わずかな収入増に

¹ S. Schmit, H. Matthews, and O. Golden (2014), pp. 4-5.を要約した。

より福祉給付を喪失すること、これらの不安定のストレスにより家族が病気になったり子供の発達が遅れたりすること、などである。

例えば、メリーランド州では、2019年から州全域で2世代支援策の実験事業をCAA（Community Action Agency）と協働で実施する²。具体的には、(1)申請者へのインタビューでは家族全体のニーズがアセスメントされ、(2)家族のニーズに基づいた包括的な支援策がCAA、政府機関、NPOの協働により実施され、(3)そうした支援がスムーズに実施できるようにデータを共有するシステムが構築される。

当日の報告では、上記のメリーランド州の事例に加え、ニューヨーク州、テキサス州など7州の一部地域で2世代支援策を実施するNPO・Jeremiah Programを取り上げる。

5. 考察

それでは、2世代支援策を1996年連邦福祉改革以降の福祉政策と関連付けよう。

第1に、1996年連邦福祉改革は現金扶助に支給期間制限を設けることで児童を扶養する家族への支援策を就労重視へと大きく転換した。その数年後には、現金扶助の申請、職業訓練や求職活動といった就労促進、保育などの就労支援を一か所で完結させるワンストップ・センターが提唱された。しかしながら、サイロ（silo）と呼ばれる縦割り行政が崩れることはなかった。第2に、2010年半にUnited Wayが、すでに社会問題になっていた、就労していても突然の出費で衣食住の基礎的ニーズが満たせなくなる脆弱な家族をALICE名付け³、その数値を発表することで、脆弱な家族は改めて注目されることになる。

こうした文脈と関連付けると、2世代支援策は、ワンストップ・センターからの課題であるサイロを壊し、貧困の連鎖の原因でもあるALICEの脆弱な生活を安定させる福祉政策と位置づけることが可能になる。

主要参考文献

Ascend at the Aspen Institute (2020a), *2Gen Platforms for Scale: Whole-Family Approaches Rooted in Community with National Reach*, Ascend at the Aspen Institute.

Ascend at the Aspen Institute (2020a), *State 2Gen Model: Maryland as a Case Study for Policymakers*, Ascend at the Aspen Institute.

Maryland Community Action Partnership (2023), *2023 MCAP 2G pilot Report*, MCAP.

S. Schmit, H. Matthews, and O. Golden (2014), “Thriving Children, Successful Parents: A Two-Generation approach to policy,” *Two-Generation Policy*, Center for Law and Social Policy.

United Way (2017), *Consequences of Insufficient Income*, United Way.

² Ascend at the Aspen Institute (2020)を参照されたい。

³ United Way (2017)を参照されたい。